



おはようございます

日本共産党
流山市議会議員

いぬいえりです



2026年6月15日 NO.57

ごみ袋臨時措置7月末まで延長 6月議会

4月28日、日本共産党市議団は市長あてに、中東情勢をうけての「緊急要望書」を出しました。その中で

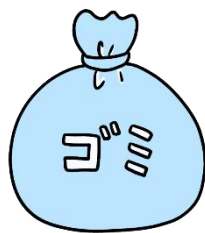
2、市指定ごみ袋について対策を図ること。

既に自治体独自の指定ごみ袋の不足や枯渇が報道されており、本市指定ごみ袋の不足や更なる価格上昇は市民生活を直撃します。また国民の命や暮らし・営業を守る必要不可欠な資源確保を最優先する立場から、透明もしくは半透明のレジ袋でも家庭ごみが捨てられるよう方針を示すこと。

と要望し、5月18日に市が指定ごみ袋以外でもごみが出せる「臨時措置」を6月末までとして発表、さらに6月議会一般質問のなかで、7月末までの延長を表明しました。

私は6月11日の一般質問でこの問題を取り上げました。市は、安定供給を判断の基準とするということです。

ナフサの不足が続く中で、資源の有効活用のために指定ごみ袋は見直しを図るときではないかと指摘しました。



「流山市幼児教育支援センター 一附属幼稚園の廃止条例」が 議題に

2年前、市内唯一の公立幼稚園「幼児教育支援センター附属幼稚園」の廃園方針が突然出されました。保護者・市民から出された、方針の見直し・存続を求める陳情が2度にわたって採択され、廃園方針は凍結されていました。

ところが、今年度の計画にもなかったのに6月議会に廃園条例が突然議題として提出されました。園を盛り立てようと頑張ってきた保護者や地域の方たちから、強い抗議の声が上がっています。2度にわたって見直しを求めた議会の意向も軽視されています。

6月12日、おだぎり議員の緊急の質疑からわかってきたのは、5月8日に市長が指示したのに、議案として出されてくるまで外部からはわからないようにされていたことです。

6月17日に、教育福祉委員会でこの議案が審議されます。



発行 いぬいえり事務所 TEL/FAX 04-7157-6140 いぬい 090-8431-8329
メール：giindan@nagareyama-jcp.jp 公式 LINE (ご意見はこちらへどうぞ) →

